

みんなで始める

SDGs



最近、SDGs(エスディー・ジーズ)という言葉をよく耳にしますが「意味が分からない」「私には関係なさそう」という人も多いと思います。実は、SDGsと私たちの生活は密接に関係しています。今号からは数回にわたり、SDGsの取り組みなどを紹介します。



SDGsは世界全体で取り組む17の目標です

SDGsは「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」の略称です。平成27年の国連サミットで、世界中の全ての人が

将来にわたってより良い社会を目指そうと、世界共通の目標として採択されました。17の分野でゴール(目標)と、169のターゲット(具体的な行動目標)が設定され、令和12年までの目標達成を目指します。町では、本年度からスタートした第9次山田町総合計画後期基本計画の中に17の目標を関連付け、事業を進めています。

「持続可能」や「国連」など



貧困解消や医療支援のため活動する団体などに募金や寄付を行うこともSDGsの取り組みにつながります

の言葉を聞くと、難しいイメージを持つてしまいがちですが、私たちの日常生活で取り組めるものが多いです。無理なくできることから始めていきましょう。

ゴール1

貧困をなくそう



世界では7億人以上の人が極度の貧困状態にあります。日本でも、食事を十分に取れなかったり、費用面で進学を断念する子どもがいたり、国内の文化・生活水準と比べて貧困状態にある人は多く存在します。

■町の主な取り組み

学校給食の提供、生活困窮世帯への自立支援など

■地域・個人で実践できること

- ・ 支援団体への募金や寄付
- ・ 子どもの学習支援ボランティアに参加する

ゴール2

飢餓をゼロに



世界の約8億人が飢餓に苦しんでいます。農業の生産性を向上させ、栄養が十分な食料の安定供給が必要です。日本では、

多くの食料を輸入に頼っていますが、年間612万トンの食品を廃棄しています。食品ロスを減らす取り組みも大切です。

■町の主な取り組み

食育の推進、豊かな土づくり支援事業など

■地域・個人で実践できること

- ・ 食べ残しを無くす
- ・ 賞味期限の短い物から買う

ゴール3

すべての人に健康と福祉を



世界では、年間約540万人の子どもが5歳を迎える前に命を落としています。日本では高齢化が進み、医療保険制度の維持が課題です。医療費を抑え、健康で長生きを目指しましょう。

■町の主な取り組み

特定検診などの事業、医師確保対策事業など

■地域・個人で実践できること

- ・ 支援団体への募金や寄付
- ・ 定期的な健康診断の受診や食生活改善などの健康管理

※10月1日号に続く

◆問い合わせ

町政策企画課 企画調整係 ☎82-3111 内線372へどうぞ。

町長室から

今年の夏も暑かった。年々暑くなっているような感じさえする。昨年の第3回議会定例会では、議員から「今年8月、山田では37.2度を記録した。特にマスクをしている中では、来庁者や職員の体感温度も上がり大変だろう。熱中症予防のためにもエアコンを設置したらどうか」という質問があった。聞くと、によると、現在の庁舎が建設されたときには冷暖房完備であつたという。しかし当時はエアコンが普及しておらず、冷房の使用はぜいたくであるとの意見もあつたことから、当時の町長は使用を控えたそう。今年7月に役場庁舎や町中央公民館などにエアコンを設置させていただいた。町長就任以来、9年間扇風機で暑さをしのいできたが、やっと猛暑から解放された。快適に職務を行えることを皆様に感謝したい。きっと、職員たちの仕事の能率も上がるであらう。

山田町長 佐藤 信逸